

石見銀山と 佐渡金銀山

— 二大鉱山の交流の歴史 —

日本を代表する鉱山遺跡である
石見銀山と佐渡金銀山。
この二つの鉱山の間を
戦国時代から江戸時代はじめに
かけて行き交った人々について、
最新の調査研究成果を交えて解説します。

〈講師〉倉恒康一

(島根県教育庁文化財課世界遺産室 専門研究員)

とき

令和7年 1.25 (土)

13:30-15:00 (13:00開場)

ところ

島根県立図書館 1階 集会室 (松江市内中原町52)



御取納丁銀
(島根県立古代出雲歴史博物館所蔵)



享保佐渡小判
(出典: ColBase <https://colbase.nich.go.jp/>)

申込方法

1月24日(金)までに、しまね電子申請サービスから
お申し込みください。(QRコードを読み取ってください)
参加無料です。※先着順に受け付け、定員(30人)に達し次第締め切ります。



関連行事

令和6年度 石見銀山巡回パネル展
「石見銀山と佐渡金銀山」

[会場] 島根県立図書館1階ホール
[会期] 令和7年1月7日(火)~2月5日(水)

お問い合わせ先

石見銀山世界遺産センター

〒694-0305 島根県大田市大森町1597-3 TEL.0854-89-0899

[受付時間] 午前8時30分から午後5時15分

※12/28-1/5、土日祝日を除く